

日本の高等英語教育の追究

仙台第三高等学校E03班

1. 背景

- ・EPI英語能力指数の低さ
(2021年、世界78位、アジア13位)
- ・日本人英語話者は留学、英会話教室経験者多数
- ・改革が始まったばかり
→授業の大きな変更は現実的ではない

76	ニカラグア
77	マダガスカル
78	日本
79	カタール
80	インドネシア
81	コロンビア

2. 仮説

授業に新たな活動を取り入れることで、高校生が、学校教育で英語を話す力をつけることができるようになるのではないかと。

3. 調査方法

1. 国内外の英語教育事情
2. アンケート (令和3年度の三高2学年97名、複数回答)

4. 調査結果

1. 韓国と日本の英語教育の違い

日本	韓国
・インプット能力を重視 →暗記型の英語教育	・アウトプット能力を重視 →スピーキングやライティングが中心

韓国の学生は...

- ・英語の本、英字新聞を読む
 - ・英語で日記を書く
 - ・英語音声ニュースを聞く
- 日本より学校外で英語に触れる機会が多い & 特別な授業を行っているわけではない

2. 英語学習の方法

- 第2言語の習得方法は第1言語の習得と同じようにはできない
←言語のメタ認知が形成されるため
- 日常会話レベルの知識は、日本の中学校で習得できる

○アンケート結果

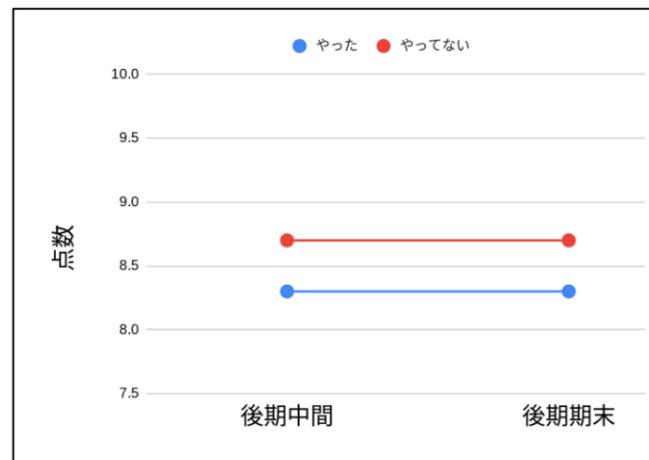
縦:英語を学習してどうなりたいか
横:英語の授業で指導してほしいこと

	文法	読む	書く	話す	聴く	なし
大学合格	36%	29%	21%	36%	40%	7%
話せるようになりたい	30%	22%	22%	42%	34%	5%
英語に関する仕事	4%	7%	7%	14%	10%	0
分からない	0	0	0	0	0	3%
97人中	40%	32%	27%	52%	43%	13%

5. 検証方法

- ・ストーリー・リテリング (要約 意見、問いかけ)
- ・プレゼンテーション
- ・コミュ英の授業中
- ・令和3年度の2学年1クラス(35名)対象
- ・コミュ英パフォーマンステストで比較(平均点)

6. 検証結果



7. まとめ

- 考察
★今の制度を温存したまま受験に向けての学習とスピーキング両方行うのは厳しい。どんな方法でも時間的に少ししか入れられない
- 考えられる手立て
・英語を実技教科にする
・スピーキング科目を新たに加える
・コミュ英:スピーキング&リスニング
英表:グラマー&リーディング
- ◎中学校、高校でスピーキング力まで求めない

参考文献

<https://www.efjapan.co.jp/epi/> ①EF EPI 2021 EF英語能力指数
https://www.saitama-city.ed.jp/kyoukaken/18/kyouka/chu/gai_ji.pdf ④神奈川大学学術機関リポジトリ コミュニケーション能力育成のための大学英語教育カリキュラム作成
https://berd.benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2008/09/07view_report_01.html ⑤教科書を活用したストーリー・リテリングの指導
④ベネッセ教育総合研究所 韓国の高校英語教育の実態